

三重県私費外国人留学生奨学金留学レポート

パク ソヨンさん

鈴鹿大学 国際学科

2019年1月更新

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

私の専攻は国際人文科学部国際領域を専攻しています。国際領域が目指している4つのチカラは、国際貢献力、地域貢献力、異文化理解力、そして自文化発信力です。Think global、Go global(国際社会と地域社会は直接結びついているという意味)！これが国際領域の合い言葉で、どこに暮らそうとも、どんな仕事に就こうとも、世界的視野で考え行動することを学んでいます。

そして、異文化を理解するとともに、自文化を理解させる力を身につけ、多文化の中で「つなぐ、つながる」存在となって、国際化の進む社会の要請に応えることを身に付けるのが私の専攻の内容です。

・夏休み等の長期休暇には、どのように過ごしていますか。

夏休みなどの長期休暇は、韓国で家族やら過ごす時間が多いです。今は、日本で留学中のため、時間があるとき家族と過ごそうとしています。特に、家族みんなの旅行を好み、家族の休み時間を合わせて韓国国内旅行や海外旅行に行きます。

一昨年には、家族が日本に遊びに来て三重県と京都を旅行しました。昨年はお姉さんが住んでいるオーストラリアに遊びに行きました。来年の夏には、台湾で初めてパッケージ旅行をする予定です。

・クラブやサークル活動をしていますか。

2年生の時には、英語が好きな友人同士の英語サークルを作って、毎週水曜日にアメリカ映画を見て、英語で映画について説明しながらお互いの感想をやりとりするESLサークル活動をしました。最初は英語で自分の意見を言うことが少し恥ずかしかったけど、お互い助け合いながら熱心に話して最後には自分の意見を英語で言えるようになりました。本で学んだ英語とはまた別の楽しさがあったサークル活動だったので最も記憶に残っています。

・出身国では、地震が起こりますか。現在、地震に対する備えをしていますか。

地震が頻繁に発生する隣国日本は地震避難要領を熟知することが日常化しているのに対し、韓国は地震安全地帯として知られており、他の国よりは「相対的」に地震があまり起こさないためか、地震に関する知識が足りません。知識の不足のため、

実際に地震が発生した時、大きな被害を置けているのが現実であり、地震発生規模、頻度、発生地域、活断層などについての専門的な研究がうまく行われていないです。それでも、最近では、2016年に韓国慶州で開かれた5.8の大地震により地震に対する恐ろしさを改めて悟り、地震に備えるため、小学校では月に一回の安全教育、災難マニュアルを強化しているそうです。

2018年10月更新

・専攻している科目の学習内容、成績について(難しいこと、熱中していること等)

2、3年生の時に専攻の授業をほとんど取りまして、今年の前期は、専攻している科目が「政治学」だけでした。「政治学」は、政治に関与し作動させる中心的なアクターである政党、社会集団、官僚、マスメディアの政治的機能を中心に学びました。正直、難しい単語が多くて少し理解できなかった部分もありましたが、学べば学ぶほど魅力ある授業だったので、一緒に授業を取った他の友達と話し合いしながら勉強して思ったより良い成績をもらいました。

教養の授業では、英語力を伸ばすために、「アドバンストイングリッシュ」と「リスニングチャレンジ」を取りました。英語の授業はほとんどのグループ活動で構成され、与えられたテーマをグループのメンバーと英語で議論しました。昔から英語に関心があったので、英語の授業は、理解しやすかったし、楽しく勉強しました。高い成績をもらってすごく満足しました。

・留学によって、自分の中で変わったと思う部分がありますか。

留学して最も変わったことは、私の性格が積極的に変わったと思います。留学する前までは、グループ活動をする機会が少なかったです。それで最初、大学に入ってグループ活動をした時は自分の意見を言うのが恥ずかしくてあまり参加しなかったです。でも、学校の授業は、グループ活動がほとんど半数を占め、他に、学校イベントなどでグループ活動をするチャンスが増えて、いつも後ろに立って参加せず、見るだけだった私が段々積極的に参加をするようになって、今は誰よりも活発に意見を出したり、メンバーを集めたり、グループをリードしたりしています。

・本奨学金も含め、一般的に奨学金に関する情報はどのように収集していますか。

私は基本的に学校の留学生事務所に掲示されているポスターを見て情報を収集しています。様々な奨学金の情報が張ってあるので、簡単に知ることができます。それで、この本奨学金も留学生事務所に掲示されているポスターを見て情報を知って申請しました。

2018年3月更新

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

ほとんどすべての授業が異文化コミュニケーション、国際法、文化人類学、グローバルスタディ特殊講義、国際関係論、地域研究、平和学のような世界の歴史や国際社会に関する授業で構成されています。異文化と国際社会を理解するとともに、自文化を理解させる力を身につけるのがこの専攻の中心的な学びです。もともと国際について感心が多かった私は、少しは難しいですが、もっと詳しく、国際社会に対して勉強できて楽しく学んでいます。

・日本を留学先として選んだ理由は何ですか。

私の夢はツアーコンダクターです。もちろん韓国でもこの職業のための勉強をすることはできますが、自分を試してみたかったし、もっと広い世界を経験して学びたかったです。それで、アジアの中で最も発展が速く、過去と現在が共存する場所が沢山存在していて、外国人観光客数が多い日本を留学先に決めました。

・留学後の日本の印象は、留学前と比べてどのように変わりましたか。

留学前には、日本人は冷たくて、自分のことでなければ気にしないという言葉は何度も聞いたことがあって、留学生活の間日本人友達と付き合うのは大変だろうと思いました。しかし、留学に来た後、その考えは完全に変わりました。人によって違いますが、ほとんど日本人たちはとても優しいです。私の言葉をよく聞いてくれるし、ゆっくり話して下さって、行動をもっと大きくしてくれます。そして、学校の日本人の友達は、私が少しでも困っていれば、その誰より早く私の心をわかってくれて沢山手伝ってくれます。今も友達とアルバイト先から多くの助けを貰っています。私はみんなに日本人たちは冷たくないということを教えたいです。

・出身地(気候、名所、名産、三重県からの行き方、三重県とのかかわり等)について

私の出身地は韓国の首都ソウルです。ソウルは政治と経済、文化と歴史の中心地です。季節は日本と同じく4季節です。ソウルには見所が多く、最も良い医療施設があり、韓国の最高の教育機関が集まっています。また、人気のある歌手のコンサートやミュージカル公演、演劇、展示会など各種文化行事と祝祭が毎日のように開催されています。放送や新聞、出版、広告など各種マスメディア施設もやはりソウルに集まっています。三重県からソウルへは中部セントレアで飛行機に乗ると、1時間40分ぐらいかかります。到着はソウルの隣の仁川(インチョン)国際空港で、ソウルまでは仁川(インチョン)国際空港から車に乗って約40分ぐらいかかります。

・前期に、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

学校で紹介を受けて高校生たちに韓国語を教えました。学生たちが韓国に旅行に行くために実生活で使う簡単な韓国語と文化、風習、日本との違いについても教えました。情熱的に勉強する姿にすごく感動を感じました。

また、学校で開かれた国際交流プログラムにも参加しました。年齢、国籍は関係なく、皆集まって、自分について話をし、これからの自分の未来について話し合うプログラムです。参加する度に多くの外国人と日本人と交流をすることができるのでとても勉強になります。

2017年11月更新

・あなたの留学目的は何ですか。

韓国からずっと観光について勉強し、ツアーコンダクターとして働きたいと思いました。ツアーコンダクターになるためにはより広い世界を経験しなければならないと思って、アジアに関心が多かった私にはその中で一番興味があった日本に留学することはできました。

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

最初は観光を専攻しようとしたのですが、学校で勉強をし、国際社会と地域の違う特性、文化、生活などに興味を持つようになって国際領域を専攻に選択しました。今は多くの人々が海外に旅行を簡単に行くことになってきながら、国際間の問題がかなり発生しているが、国際法や国際関係論を通じてその国にはどんなのが問題になっているのか、私たちはどう違うかを勉強しています。そして、異文化コミュニケーションと文化人類学を通じて人間の種類と異なる点を理解する勉強もしています。

・現在の大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

この鈴鹿大学に入学するためには、高校の成績証明書、筆記試験そして面接がありました。ありがたく鈴鹿大学から教授が韓国まで来てくださって日本に行かずに試験を受けることができました。約一ヶ月ほど後、合格をもらって韓国で日本語の勉強の身に付けて、今の鈴鹿大学で留学をすることができました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

最も多く利用したのは日本語日本語塾の先生の教えと大学の説明会でした。最初はどんな大学を選択したらいいのか迷った私に先生たちは私にもっと合う大学を教えてくださいました。そして、自分で大学のホームページを見ながら調べました。それで、韓国で開かれた鈴鹿大学の説明会にも参加して様々な情報を沢山知ることができました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

鈴鹿大学は観光コースが有名な大学で、観光関連の仕事をしたかった私に最も適した学校です。そして、国際学校として様々な留学生たちがいて国際的な交流できることが大きな長所で、この学校を選択した一番の理由です。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

三重県内の鈴鹿大学と関連された小学校に行って学生の前でパワーポイントを使用して韓国の文化、観光地日本と違う点などを紹介しました。後は、みんなと韓国の童謡を歌い、民俗遊びもしながら一緒に楽しい時間を過ごしました。